

令和8年度 6月補正予算概要

1	全体の概要	1
2	各会計補正予算総括表	3
3	一般会計総括表	4
4	主要事業等の概要	6
5	債務負担行為調書	34
6	議案概要	35



加賀市

令和8年度6月補正予算の全体概要

令和8年度6月補正予算の中に、再生プロジェクト検討会からの答申や事業継続評価に基づき必要と判断した事業を計上しています。

再生プロジェクト検討会(令和7年12月～令和8年3月)

事業継続評価(内部評価:令和7年12月、外部評価:令和8年4月)

- 加賀市の魅力の磨き上げ
- 「稼ぐ力」と「暮らしやすさ」の連動
- 施策の有機的連携
- 選択と集中

住民の幸せ

- 持続可能な財政運営
- 事業の優先順位の見極め
- 減少し続けている基金残高に留意
- 不断の事業見直し

6月補正予算

6月補正予算 ～新「加賀市ビジョン」に向けて～

未来への活力となる『人づくり・まちづくり』を丁寧に整え、今ある暮らしの基盤である『安心・安全』を守ることで、原点である『住民の幸せ』を確かな形にしていきます。

もっと住民が幸せな加賀市へ

人づくり

- ・ 創造的探究を支える環境整備事業
- ・ デジタル人材育成事業
- ・ 教育ビジョン推進事業
- ・ 「地域枠」創設による加賀看護学校授業料無償化事業

まちづくり

- ・ 未来型商業エリア周辺施設整備事業
- ・ 新産業創出支援事業
- ・ 加賀市農林水産業振興行動計画策定事業
- ・ 高付加価値商品造成・販売事業
- ・ 文化の更なる磨き上げ事業
- ・ 多世代が輝き笑顔で安心して暮らせるまちづくり推進事業(空家利活用推進)

安心・安全

- ・ 乗合タクシー運行事業(定期券導入)
- ・ 災害時のトイレカー整備事業
- ・ 導送水施設防災対策事業
- ・ 消防救急デジタル無線設備更新事業

令和8年度6月補正予算 各会計補正予算総括表

(単位：千円 %)

区分	前 6 月 予	年 補 正 算	度 後 額	令和8年度			前年対比伸率	備 考
				現計予算額	6月補正予算額	合計		
一般会計		42,382,200		36,705,000	584,200	37,289,200	△ 12.0	
特別 会計	国民健康保険	6,305,100		6,607,800		6,607,800	4.8	
	後期高齢者医療	1,288,000		1,557,400		1,557,400	20.9	
	介護保険	7,351,900		7,414,000	2,200	7,416,200	0.9	
	加賀山代温泉財産区	135,000		140,500		140,500	4.1	
	加賀山中温泉財産区	200,600		209,600		209,600	4.5	
	計	15,280,600		15,929,300	2,200	15,931,500	4.3	
企業 会計	病院事業	12,446,900		11,266,200		11,266,200	△ 9.5	
	水道事業	4,028,100		4,775,400	69,500	4,844,900	20.3	
	下水道事業	6,149,400		4,557,300		4,557,300	△ 25.9	
	計	22,624,400		20,598,900	69,500	20,668,400	△ 8.6	
合計		80,287,200		73,233,200	655,900	73,889,100	△ 8.0	

令和8年度6月補正予算 一般会計総括表

歳 出

(単位：千円 %)

款	前 6 月 予	年 補 算	度 正 後 額	令 和 8 年 度			前年対比伸率	構 成 比
				現計予算額	6月補正予算額	合 計		
1	議 会 費		275,438	283,327	0	283,327	2.9	0.8
2	総 務 費		4,021,512	4,262,341	14,567	4,276,908	6.4	11.5
3	民 生 費		13,113,159	13,180,392	39,003	13,219,395	0.8	35.4
4	衛 生 費		3,461,672	3,465,262	13,000	3,478,262	0.5	9.3
5	労 働 費		5,320	4,940	1,000	5,940	11.7	0.0
6	農 林 水 産 業 費		506,658	474,836	71,912	546,748	7.9	1.5
7	商 工 費		1,010,912	1,141,834	170,949	1,312,783	29.9	3.5
8	土 木 費		7,508,561	3,752,132	93,514	3,845,646	△ 48.8	10.3
9	消 防 費		1,717,203	1,325,817	58,572	1,384,389	△ 19.4	3.7
10	教 育 費		6,547,089	3,888,769	96,683	3,985,452	△ 39.1	10.7
11	災 害 復 旧 費		121,800	391,600	1,900	393,500	223.1	1.1
12	公 債 費		3,974,078	4,282,889	0	4,282,889	7.8	11.5
13	諸 支 出 金		108,798	240,861	23,100	263,961	142.6	0.7
14	予 備 費		10,000	10,000	0	10,000	0.0	0.0
	計		42,382,200	36,705,000	584,200	37,289,200	△ 12.0	100.0

歳 入

(単位：千円 %)

款	前 6 月 予	年 補 算	度 後 額	令 和 8 年 度			前年対比伸率	構 成 比
				現計予算額	6月補正予算額	合 計		
1 市 税		9,479,210		10,136,100	0	10,136,100	6.9	27.2
2 地 方 譲 与 税		278,240		276,070	0	276,070	△ 0.8	0.7
3 利 子 割 交 付 金		6,000		35,000	0	35,000	483.3	0.1
4 配 当 割 交 付 金		55,000		71,000	0	71,000	29.1	0.2
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金		83,000		95,000	0	95,000	14.5	0.3
6 法 人 事 業 税 交 付 金		190,000		215,000	0	215,000	13.2	0.6
7 地 方 消 費 税 交 付 金		1,800,000		2,040,000	0	2,040,000	13.3	5.5
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金		87,000		72,000	0	72,000	△ 17.2	0.2
9 環 境 性 能 割 交 付 金		50,000		1,000	0	1,000	△ 98.0	0.0
10 地 方 特 例 交 付 金		45,000		95,000	0	95,000	111.1	0.3
11 地 方 交 付 税		8,902,000		8,177,000	0	8,177,000	△ 8.1	21.9
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		5,000		5,000	0	5,000	0.0	0.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金		9,105		16,108	4,000	20,108	120.8	0.0
14 使 用 料 及 び 手 数 料		382,582		374,294	0	374,294	△ 2.2	1.0
15 国 庫 支 出 金		8,056,096		6,600,844	101,589	6,702,433	△ 16.8	18.0
16 県 支 出 金		2,551,740		2,337,980	59,783	2,397,763	△ 6.0	6.4
17 財 産 収 入		34,737		34,717	0	34,717	△ 0.1	0.1
18 寄 附 金		1,206,400		1,320,600	600	1,321,200	9.5	3.5
19 繰 入 金		1,108,053		1,006,701	2,297	1,008,998	△ 8.9	2.7
20 繰 越 金		131,767		20,000	191,520	211,520	60.5	0.6
21 諸 収 入		1,038,870		1,063,626	14,111	1,077,737	3.7	2.9
22 市 債		6,882,400		2,711,960	210,300	2,922,260	△ 57.5	7.8
計		42,382,200		36,705,000	584,200	37,289,200	△ 12.0	100.0

主要事業等の概要

1	再生プロジェクト関係	
(1)	新「加賀市ビジョン」策定事業	7
(2)	トイレカー整備事業	8
(3)	乗合タクシー運行事業（定期券導入）	9
(4)	創造的探究を支える環境整備事業	10
(5)	高付加価値商品造成・販売事業	11
(6)	九谷焼振興推進事業	12
(7)	デジタル人材育成事業	14
(8)	地域産業先端技術導入実証事業	15
(9)	新産業創出支援事業	16
(10)	未来型商業エリア周辺施設整備事業	17
(11)	歴史民俗資料展示検討事業	19
(12)	法皇山便益施設（トイレ）建替事業	20
(13)	導送水施設防災対策事業（水道事業会計）	21
2	多世代が輝き笑顔で安心して暮らせるまちづくり推進事業	22
3	北陸「温泉駅」連携による誘客宣伝プロモーション事業	23
4	加賀山代温泉総湯照明設備LED化事業	24
5	加賀山代温泉総湯地下タンク改修事業	25
6	加賀市農林水産業振興行動計画策定事業	26
7	除雪対策事業	27
8	公園施設更新事業	28
9	大聖寺町屋実態調査事業	29
10	消防救急デジタル無線設備更新事業	30
11	教育ビジョン推進事業	31
12	石川県九谷焼美術館展示室照明設備LED化事業	32
13	「地域粹」創設による加賀看護学校授業料無償化事業（債務負担行為）	33

新「加賀市ビジョン」策定事業

【予算計上科目：2款 1項 8目中 企画振興費】

事業の内容

【事業の目的】

令和8年度で計画期間が終了する「第2次加賀市総合計画」に代わる、市民にとってよりわかりやすく、より市民目線の市の施策指針を示すことを目的とする加賀市の将来ビジョン 新「加賀市ビジョン」を策定する。

【概要】

1 事業年度	令和8年度
2 事業費	3,000千円
3 事業内容	ビジョン策定業務委託費 2,000千円 印刷製本費等 1,000千円
4 財源内訳	
市（一般財源）	3,000千円

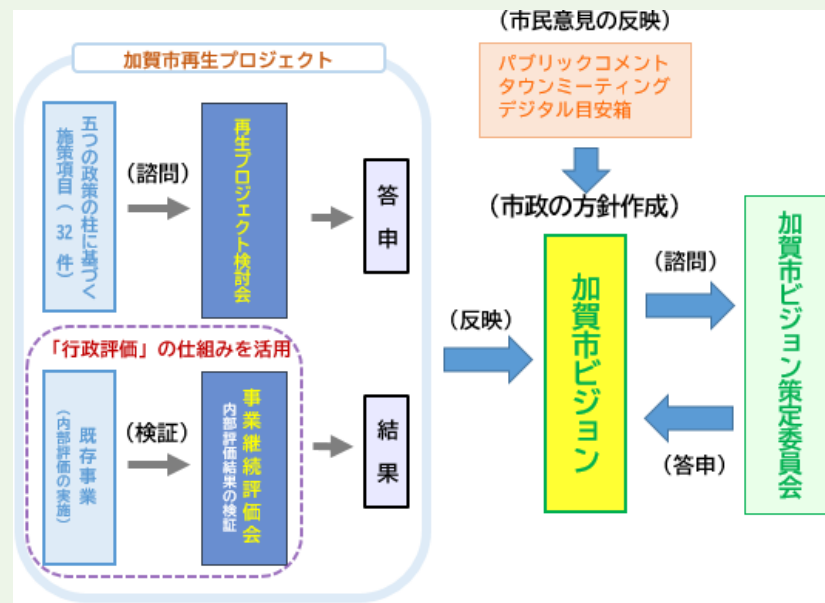
【予算額】

1 現計予算額	2,000千円
2 6月補正予算額	3,000千円
3 補正後の予算額	5,000千円

※現計予算額「加賀市再生プロジェクト推進事業」2,000千円を当該事業費に振替える。



事業イメージ



ビジョン策定スケジュール（案）



トイレカー整備事業

【予算計上科目：9款 1項 5目中 災害対策活動費】

事業の内容

【事業の目的】

災害時の避難所における衛生的なトイレ環境を迅速に確保することにより、避難者の健康を守り、エコノミー症候群や感染症等を起因とする災害関連死を防止する。

【概要】

1 事業年度	令和8年度
2 事業費	21,400千円
3 事業内容	
(1) 保険料等	194千円
(2) 備品購入費	21,206千円
	自走式トイレカー2台
4 財源内訳	
市（緊急防災・減災事業債）	21,200千円
市（一般財源）	200千円

【予算額】

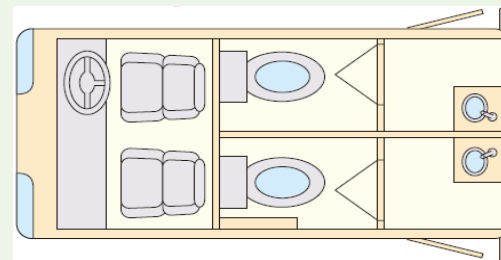
1 現計予算額	0千円
2 6月補正予算額	21,400千円
3 補正後の予算額	21,400千円

事業イメージ

【主な仕様】

- 車両 : 軽トラック（660cc）、AT、4WD
- 架装部（トイレ室）
 - : 室数2室、温水洗浄便座2台、手洗いシンク2基、エアコン、市章等ラッピング

【イメージ図】



乗合タクシー運行事業(定期券導入)

【予算計上科目：2款 1項 8目中 地域交通対策費】

事業の内容

【事業の目的】

令和7年6月から令和8年1月にかけて実施した定期券実証運行の結果、定額制の導入が乗合タクシー利用者の増加につながり、高齢者の外出機会の創出や、子育て世帯の送迎負担軽減に寄与することが確認された。一方で、利用増に伴うピーク時の対応が求められること、加賀市再生プロジェクト検討会にて「乗合タクシー等の充実を図ること」と答申があったことから、定期券の本格導入と併せて、需要が集中する時間帯の車両を増車する。

これにより、乗合タクシーの利便性をさらに高め、市民が将来にわたり安心して移動できる持続可能な交通環境の拡充を図る。

【概要】

- 1 事業年度 令和8年度
- 2 事業費 4,290千円
- 3 事業内容
 - (1) 車両マグネット、定期券印刷費 80千円
 - (2) 乗合タクシー運行委託費 3,500千円
 - (3) 乗合タクシー予約配車アプリ使用料 710千円

- 4 財源内訳
 - 市（一般財源） 4,290千円

【予算額】

- 1 現計予算額 87,390千円
- 2 6月補正予算額 4,290千円
- 3 補正後の予算額 91,680千円

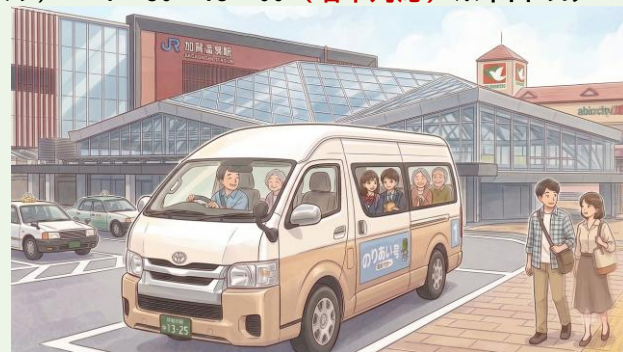
事業イメージ

◆ 定期券情報

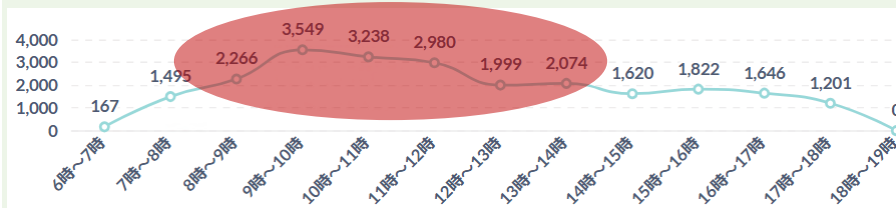
- * 一般：8,000円/月
- * 学生、70歳以上、障害者手帳等所持者：5,000円/月

◆ 運行体制(予定) 7/1～（利用状況をモニタリングし、随時調整）

- * ジャンボ車両(8人乗り) 6：30～17：30
- * セダン車両(3人乗り) 7：30～13：00（増車対応）※平日のみ



◆ 乗合タクシー時間別利用状況（R7.7～R8.3）



通学、通院等の定時性が求められる、需要が**集中する時間帯**に絞って、増台体制を構築する。利用状況のモニタリングを通じて相乗り率を高め、最小限の車両数で最大限の輸送効率を目指す。

創造的探究を支える環境整備事業

【予算計上科目：3款 2項 3目中 保育推進事業費】

事業の内容

【事業の目的】

加賀市保育ビジョンの推進に向け、公立保育園の園舎内外の探究スペース確保や、感性を刺激する備品の導入を行うことで、天候や場所にとらわれず、子どもの興味関心が途切れることのない探究的な活動の保障を目指す。

【概要】

- | | | |
|---|---|---------|
| 1 | 事業年度 | 令和8年度 |
| 2 | 事業費 | 3,229千円 |
| 3 | 事業内容 | |
| | (1) 需用費 | 3,229千円 |
| | ・橋立保育園 ウッドデッキ工事 | 1,200千円 |
| | ・スワトン保育園 中庭工事 | 1,042千円 |
| | ・屋外アトリエに配備する素材購入 | 987千円 |
| | ※アトリエ…子どもたちの思考を可視化し、多種多様な素材で表現を深めるための専門的な空間 | |
| 4 | 財源内訳 | |
| | 諸収入（財団助成金 10/10） | 3,229千円 |

【予算額】

- | | | |
|---|---------|----------|
| 1 | 現計予算額 | 12,259千円 |
| 2 | 6月補正予算額 | 3,229千円 |
| 3 | 補正後の予算額 | 15,488千円 |

事業イメージ

公益財団法人 まちのこども財団



創造的探究助成事業

- ・目的 こどもたちの創造的探究を支える環境づくりの挑戦を支援
- ・助成対象 保育所、認定こども園など
- ・期間 2026年4月～2027年3月末
- ・金額 上限200万円または申請額

採択団体

- ・橋立保育園
 - ・スワトン保育園
- 参考) 2026年度採択数 加賀市 2園/全国 11園

【イメージ】橋立保育園 ウッドデッキ工事

老朽化した木材部分をコンクリートとアクリル樹脂に改修することで、安全性を保障するとともに、天候や園舎内外にとらわれず、こどもの探究的な活動の保障を行う。



高付加価値商品造成・販売事業

【予算計上科目：7款 2項 2目中 インバウンド推進費】

事業の内容

【事業の目的】

国内の観光需要が停滞する中、海外富裕層向けの高付加価値な体験コンテンツの商品造成・販売及び専用ガイドの育成を行い、海外富裕層の誘客による本市の認知拡大及びブランド力向上、観光消費額の増大を図り、持続可能な観光地の実現に寄与する。

【概要】

- | | |
|--------------------|---------|
| 1 事業年度 | 令和8年度 |
| 2 総事業費 | 6,000千円 |
| 3 事業内容 | |
| (1) 高付加価値商品造成・販売事業 | 6,000千円 |
| 4 財源内訳 | |
| 国（地域未来交付金） | 3,000千円 |
| 市（一般財源） | 3,000千円 |

【予算額】

- | | |
|-----------|---------|
| 1 現計予算額 | 0千円 |
| 2 6月補正予算額 | 6,000千円 |
| 3 補正後の予算額 | 6,000千円 |

事業イメージ

海外富裕層をターゲットとした
高付加価値な体験商品の造成・販売
ローカルガイドの育成



インバウンド受入態勢の高質化

海外富裕層への認知度向上
海外におけるブランド力向上

観光消費額の増大

世界から選ばれる
持続可能な温泉観光地

九谷焼振興推進事業

【予算計上科目：7款 1項 2目中 九谷焼振興推進費】

事業の内容

【事業の目的】

加賀市は九谷焼生誕の地であり、加賀市が誇る九谷焼は、後継者不足と販路開拓に苦心している。

技術継承及び産業振興を図るため、加賀九谷焼陶磁器協同組合と連携し各事業を実施する。

【概要】

- | | |
|------------------|---------|
| 1 事業年度 | 令和8年度 |
| 2 事業費 | 6,746千円 |
| 3 事業内容 | |
| (1)関東・関西九谷焼展開催事業 | 3,626千円 |
| (2)青泉窯再興事業 | 3,120千円 |
| 4 財源 | |
| 市（産業人材育成基金） | 1,650千円 |
| 市（一般財源） | 5,096千円 |

【予算額】

- | | |
|-----------|----------|
| 1 現計予算額 | 3,730千円 |
| 2 6月補正予算額 | 6,746千円 |
| 3 補正後の予算額 | 10,476千円 |

事業イメージ

九谷焼生誕の地。まさに市民の誇りともいえる産業をさらに磨き上げ、地域の活性化をめざす。



令和8年度6月補正予算 主要事業等の概要

九谷焼振興推進事業

事業の内容（個別）

(1) 関東・関西九谷焼展開催事業 3,626千円

丸善日本橋店、日本橋三越本店と阪急うめだ本店で開催される現代九谷焼作家展の開催を支援。

特に若手作家の販路獲得に貢献し、九谷焼の将来を担う世代の作家の事業活動を後押しする。

関東・関西九谷焼展

ターゲットの多い大都市での認知向上を目指す企画展。

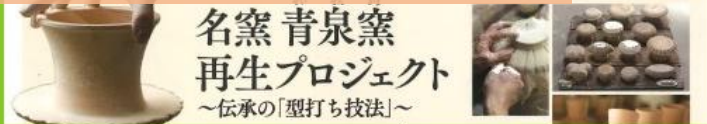
(関東)丸善日本橋店・日本橋三越本店 2025/9/20-26

(関西)阪急うめだ本店 2026/1/14-19

今年度も同時期に開催



青泉窯の作品や若手作家の作品を展示販売



展示販売 受注制作 青泉窯の「型」から 生み出された新作を販売

白磁に出展作家による絵付けをした作品を販売予定。

●受注制作…白磁作品の納期は約3カ月程、絵付作品の納期は約6カ月程になります。会場にてご相談承ります。



事業の内容（個別）

再生プロジェクト関係

(2) 青泉窯再興事業 3,120千円

「青泉窯（せいせんよう）」には貴重な施設（のぼり窯、アトリエ等）や1,000点近い「型」が残る。

産業・文化両面で高い価値がある青泉窯を若手作家への技術継承の場として有効に活用するため、地域おこし協力隊制度を活用した専従者を雇用し取り組みを推進する。

※加賀九谷陶磁器協同組合と連携し、整備に向けた検討を進めている。



貴重な資料の整理や来訪者の案内を担当する担い手が必要

文化の磨き上げによる伝統的工芸品の振興

青泉窯再興のイメージ(ジオラマ)



デジタル人材育成事業

事業の内容

【事業の目的】

加賀市在住または市内就業を希望する女性を対象に、「高度なデジタルスキル習得」と「就労機会の提供」を一体的に支援する。生成AIやwebマーケティング、業務管理システム（ERP）のスキル習得を通じ、育児や介護といったライフステージに左右されず、自分らしく経済的に自立できる環境を作る。

多様な働き方を実現するとともに、育成されたDX人材が市内企業で活躍することで、地域産業の活性化とデジタル化の推進に寄与することを目的とする。

【概要】

1 事業年度	令和8年度
2 事業費	5,000千円
3 事業内容	
(1) 女性DX人材育成・就労支援事業	5,000千円
4 財源内訳	
国（地域女性活躍推進交付金）	3,750千円
市（一般財源）	1,250千円

【予算額】

1 現計予算額	7,500千円
2 6月補正予算額	5,000千円
3 補正後の予算額	12,500千円

事業イメージ

女性DX人材育成・就労支援事業： デジタルスキルで拓く新しいキャリア

本事業は、女性がライフステージの変化に左右されず、RPAやAIなどの高度なデジタルスキルを習得し、自分らしい柔軟な働き方を実現するための支援プログラムです。5ヶ月間の学習から就労支援までを一体的に提供し、個人の自立と地域経済の活性化を同時に目指します。

学習から就業までの3ステップ



STEP 1

実践的ITスキルの習得
5ヶ月間のeラーニングでRPA、AI、Webマーケティング等の高単価が期待できるスキルを習得。



STEP 2

長期伴走型の継続サポート
個別相談や受講生同士の交流により、学習の離脱を防ぎモチベーションを維持する体制を提供。



STEP 3

直結型の就労支援
キャリアヒアリングや企業マッチングを通じて、学習完了後の早期就業を強力にバックアップ。

本事業が実現する未来



柔軟で多様な働き方の実現
テレワーク等を活用し、個々の希望に応じた「自分らしい」働き方を後押し。



経済的自立とキャリアの継続
高度なスキルを武器に、ライブイベントによるキャリアの踏み、自立を支援。



地域経済の活性化
デジタル人材を市内企業へ繋ぐことで、誰もが能力を発揮できる土壌を地域に作る。

スキルアップのその先は、リモートでスキルを活かせる仕事ができることで、加賀市に住み続けることができる。

地域産業先端技術導入実証事業

デジタル推進課

【予算計上科目：7款 1項 2目中 産業デジタル化推進費】

事業の内容

【事業の目的】

先端技術（AI・IoT、バイオ、次世代物流等）を呼び水として、地域資源を最大限に活かした「地域主導型DX」を推進し、次世代に誇れる持続可能な地域社会を構築する。地元の主役である中小企業や伝統産業の生産性を劇的に向上させるとともに、新たな挑戦を行う企業との協働を促し、市内企業連携による強力な地域エコシステムを創出する。これらを通じて、地域全体の産業活性化と雇用創出、そして市民生活への直接的な利益還元を目指す。主に市内事業者が実施する実証実験経費（最大500万円）を補助し、事業の立ち上げから、地域と共創する形での社会実装までをトータルで強力に後押しする。

【概要】

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 事業年度 | 令和8年度 |
| 2 事業費総額 | 15,000千円 |
| 3 事業内容 | |
| (1)地域産業先端技術導入実証事業費 | 15,000千円 |
| 4 財源内訳 | |
| 国（地域未来交付金） | 7,500千円 |
| 市（一般財源） | 7,500千円 |

【予算額】

- | | |
|-----------|----------|
| 1 現計予算額 | 0千円 |
| 2 6月補正予算額 | 15,000千円 |
| 3 補正後の予算額 | 15,000千円 |

事業イメージ

先端技術導入実証実験支援

先端技術で、地元の「稼ぐ力」を最大化する。

500万円

1事業あたり最大500万円を補助

実証実験にかかる経費を支援し、先端技術の導入ハードルを下げます。



製造・伝統工芸の生産性を劇的向上

AIやロボットの導入、熟練技能のデジタル化により、高付加価値ものづくりを実現します。



「地域主導」の連携を優先採択

市内事業者同士の共同プロジェクトや、地域経済への直接的な還元を重視します。



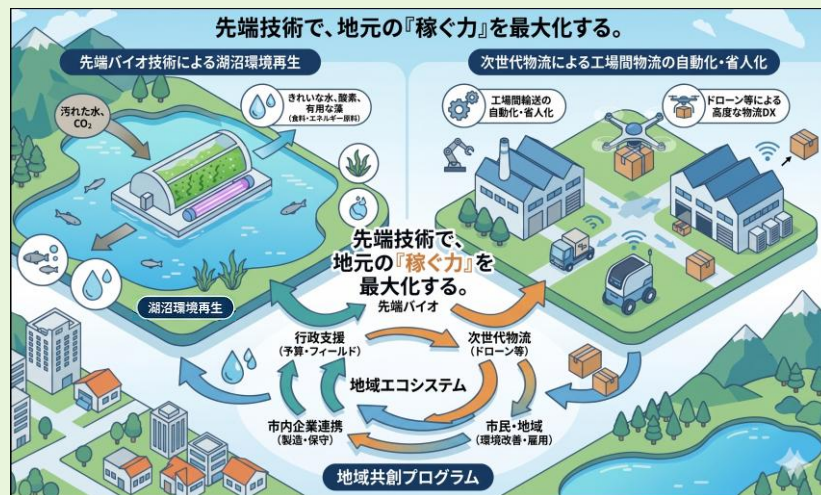
省人化

データ経営

労働不足からデータ経営まで幅広く支援

自動化による省人化や、観光データの分析による戦略的集客など、多岐にわたる課題に対応します。

実証事業例のイメージ図



新産業創出支援事業

再生プロジェクト関係

【予算計上科目：7款 1項 2目中
産業デジタル化推進費】

事業の内容

【事業の目的】

旧緑丘小学校跡地を次世代エアモビリティの産業創出拠点として整備する。令和7年度の実施設計に基づき、校舎の設備・内装を改修し、研究開発や人材育成を担う共用施設を整備する。

また令和6年に設立した「加賀市次世代エアモビリティコンソーシアム」により、JAL等の大手企業や大学、行政との連携を深化させながら、ハード・ソフト両面の整備により、企業誘致と市内事業者とのバリューチェーン構築を促進し、新産業基盤の確立と持続的な地域活性化を加速させる。

【概要】

- | | |
|----------------------------|----------|
| 1 事業年度 | 令和8年度 |
| 2 事業費 | 61,500千円 |
| 3 事業内容 | |
| (1)旧緑丘小学校の整備改修等 | 55,500千円 |
| (2)ドローンエンジニア会議2026開催業務 | 3,000千円 |
| (3)加賀市次世代エアモビリティコンソーシアム運営費 | 2,000千円 |
| (4)研究委託事業（エアモビリティベース調査研究等） | 1,000千円 |
| 4 財源内訳 | |
| 国（地域未来交付金） | 29,250千円 |
| 市（商工施設整備事業債） | 24,900千円 |
| 市（一般財源） | 7,350千円 |

【予算額】

- | | |
|-----------|----------|
| 1 現計予算額 | 0千円 |
| 2 6月補正予算額 | 61,500千円 |
| 3 補正後の予算額 | 61,500千円 |

事業イメージ



次世代技術で描く、加賀市の未来戦略

廃校を先端技術の拠点に変え、地域の課題解決と産業活性化を同時に実現する

廃校を先端技術の実験場へ
既存の未利用資産を再整備し、企業の技術開発を支える「開発フィールド」として開放します。

産学官の連携で技術を融合
コンソーシアムを軸に、外部企業のノウハウと市内企業の高度な技術を掛け合わせます。

防災・物流・農業を強化
次世代エアモビリティを活用し、喫緊の課題である物流網や災害対応の強化を図ります。

産業活性化と市民の幸福を両立
新たな雇用創出とバリューチェーンへの参画を通じて、持続可能な発展を目指します。

未来型商業エリア周辺施設整備事業

【予算計上科目：8款 5項 1目中
南側商業エリア周辺施設整備事業費】

事業全体の内容

【事業の目的】

加賀温泉駅周辺に民間開発を誘導することにより、市全体の活性化の原動力として市中心部に賑わいを創出する。市外に流出している消費を市内に留め、市外から消費を呼び込むことで、市域全体へ経済効果を波及させ、持続可能な地域づくりに繋げる。

【概要】

- 1 事業年度 令和3年度～
- 2 総事業費 2,111,070千円
- 3 完成年度 令和10年度（第1期開発）

【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 1,517千円
- 2 事業内容
 - (1) 未来型商業エリア推進事業費 668千円
 - (2) 市道C第583号線ほか道路改良工事 849千円
- 3 財源

市（公共事業等債）	700千円
市（一般財源）	817千円

【予算額】

- 1 現計予算額 668千円
- 2 6月補正予算額 849千円
- 3 補正後の予算額 1,517千円

事業全体のイメージ

加賀温泉駅南地区開発事業開発計画エリア図
(未来型商業及び観光集客用地)



未来型商業エリア周辺施設整備事業

事業の内容（個別）

【令和8年度6月補正】

市道C第583号線ほか 道路改良工事

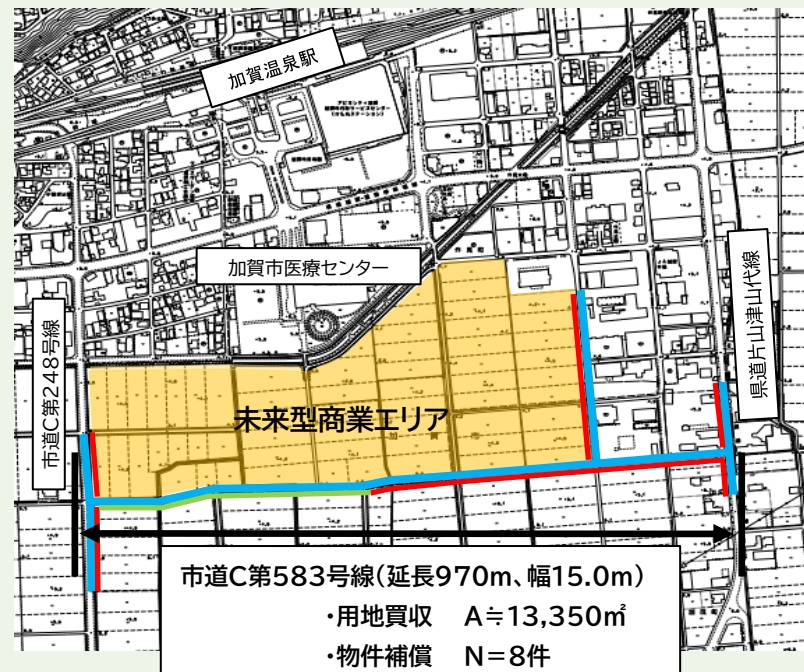
【事業の目的】

未来型商業エリアへのアクセス向上と周辺道路の円滑な通行を図り、災害発生時には、加賀市医療センターへのアクセス（代替え）ルートとしての機能を担うとともに、未来型商業エリアに接し、市の南北幹線道路である県道片山津山代線と市道C第248号線を結ぶ連絡道路を整備する。

- 1 事業費 849千円
- 2 事業内容
 用地買収のための不動産鑑定評価 849千円
- 3 財源内訳

市（公共事業等債）	700千円
市（一般財源）	149千円

事業の内容（個別）



凡 例	
—	R7用地買収
—	R9用地買収
—	整備予定道路

年次計画

令和7年度	測量、設計、用地買収(繰越)
令和8年度	不動産鑑定評価
令和9年度	用地買収、物件補償、改良工事
令和10年度	改良工事、舗装工事、交差点改良工事

歴史民俗資料展示検討事業

再生プロジェクト関係

【予算計上科目：10款 5項 4目中
文化財保存活用費】

事業の内容

【事業の目的】

市内の収蔵庫に保管されている多くの歴史民俗資料については、展示など資料の活用が課題となっている。資料の有効活用のため、展示のあり方などについて検討し、今後の資料の公開活用に反映する。

【概要】

1 事業年度	令和8年度
2 事業費	160千円
3 事業内容	
(1) 委員会開催等	160千円
4 財源内訳	
市（一般財源）	160千円

【予算額】

1 現計予算額	0千円
2 6月補正予算額	160千円
3 補正後の予算額	160千円

事業イメージ

（仮称）歴史民俗資料展示検討委員会の設置

1. 設置目的

市内収蔵庫等に保管されている歴史民俗資料について、展示場所や手法等の資料の活用について検討し、地域の歴史や暮らしへの理解を深め、郷土学習の推進につなげる。

2. 委員構成 4名

（内訳）

 専門家 2名（博物館運営・歴史資料）
 地元有識者 2名（文化財保護審議会委員ほか）

検討内容

既存資料の把握・整理

展示場所、手法の検討

資料の活用方針（郷土学習・社会教育）など

検討結果をもとに

今後の資料の公開活用に反映

法皇山便益施設（トイレ）建替事業

再生プロジェクト関係

【予算計上科目：10款 5項 4目中
文化財保護施設整備費】

事業の内容

【事業の目的】

法皇山は市内外問わず遠足や視察など多くの児童・生徒が訪れる国指定史跡である。トイレは昭和60年の建設で35年以上経過しており、老朽化が著しく不具合も多いことから、建て替えるもの。

【概要】

- 1 事業年度 令和7年度～令和8年度
- 2 総事業費 41,632千円
- 3 完成予定 令和9年3月

【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 40,000千円
- 2 事業内容
 - (1)法皇山便益施設建替工事 38,768千円
 - (2)工事監理業務 1,232千円
- 3 財源内訳
 - 市（地域活性化事業債） 36,000千円
 - 市（一般財源） 4,000千円

【予算額】

- 1 現計予算額 0千円
- 2 6月補正予算額 40,000千円
- 3 補正後の予算額 40,000千円

事業イメージ

既存：法皇山便益施設（トイレ）



現状：男子トイレ



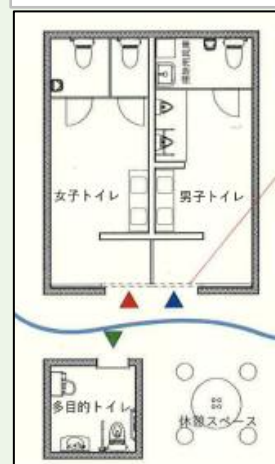
現状：女子トイレ



完成イメージ



参考平面図



導送水施設防災対策事業

【予算計上科目：2款 1項 2目中 原水及び浄水施設費】

事業の内容

【事業の目的】

本市水道の水源は、九谷ダム水と県水の二系統を有しているが、山中地区のみが九谷ダム水の一系統で運用している。

このため、災害時や水質異常時等による九谷ダム水の断水リスクに備え、山代配水池から山中配水池への送水ポンプ施設を整備し、県水によるバックアップ体制を構築することで、安定した水道水の供給を図る。

【概要】

- 1 事業年度 令和7年度～令和11年度
- 2 総事業費 420,000千円
- 3 完成予定 令和12年3月

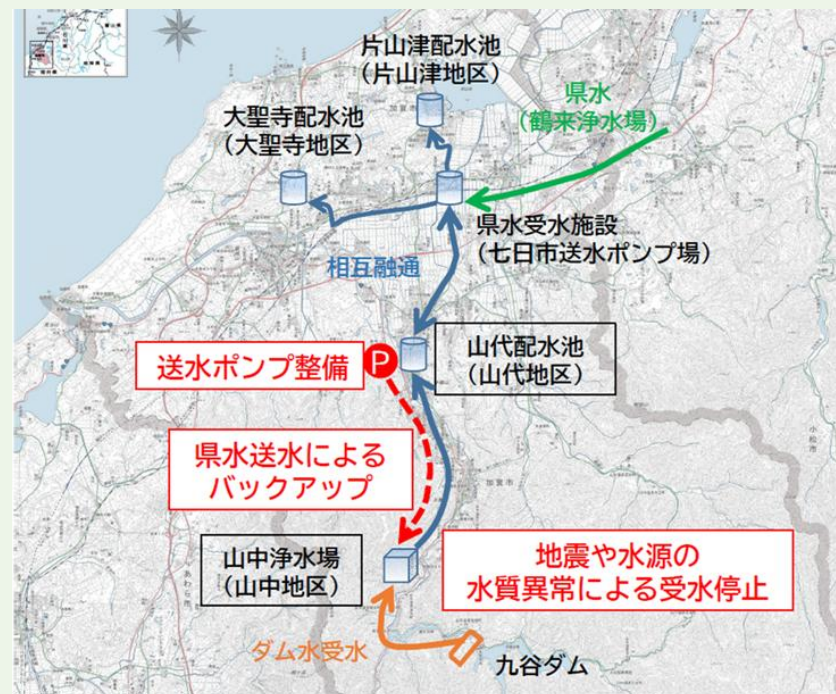
【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 39,000千円
- 2 事業内容
 - (1) 委託費(送水ポンプ施設実施設計) 39,000千円
- 3 財源内訳
 - 市(企業債) 19,500千円
 - 市(一般会計出資金) 19,500千円

【予算額】

- 1 現計予算額 0千円
- 2 6月補正予算額 39,000千円
- 3 補正後の予算額 39,000千円

事業イメージ



スケジュール

事業費	R7	R8	R9	R10	R11
設計	基本設計	実施設計			
土木建築工事			土木建築工事		
機械設備工事			機械設備工事		
電気設備工事				電気設備工事	
場内整備工事					場内整備工事

多世代が輝き笑顔で安心して暮らせるまちづくり

推進事業(空家利活用促進支援計画の策定)

事業の内容

【事業の目的】

高齢者の住み替えニーズを把握するとともに、空家等の家屋を資源と捉え、高齢者の住み替えに関する意向を踏まえた空家等の利活用を促進する支援計画を策定する。

空家の発生を抑制するとともに子育て世帯等の流入を促すことで、多世代が輝き笑顔で安心して暮らせるまちづくりを、「松が丘」と「大聖寺」をモデル地区に取り組みを推進する。

【概要】

1 事業年度	令和8年度	
2 事業費	10,400千円	
3 事業内容		
(1) 空家利活用促進支援計画策定委託料		10,000千円
(2) 集落支援員業務委託料		400千円
4 財源内訳		
国(地域未来交付金)	5,000千円	
市(一般財源)	5,400千円	

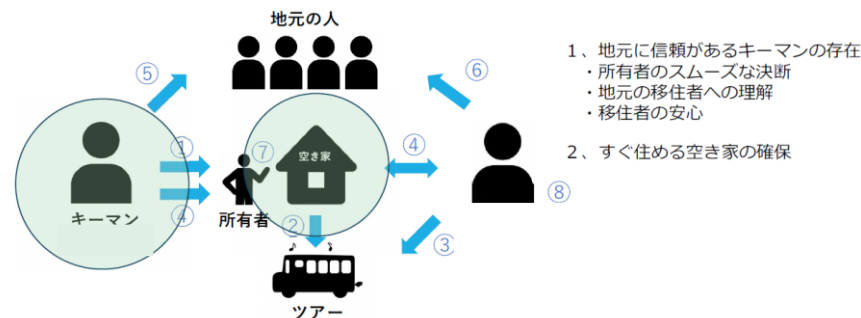
【予算額】

1 現計予算額	9,000千円
2 6月補正予算額	10,400千円
3 補正後の予算額	19,400千円

事業イメージ

- 1 「空家マッチングツアー」を開催し、空家所有者と空家の購入・賃借希望者とをマッチングする取り組みを行い、空家の流動化、住み替えを支援する。
- 2 マッチングツアーの取り組みを踏まえ、空家所有者、移住希望者、不動産団体、福祉関連団体、地域団体等のニーズ、意見を聴取し、住み替え支援の計画を策定する。

スムーズなマッチングに 欠かせない2つのポイント



- 3 地域の実情に詳しい「集落支援員」が市と連携し、空家の利活用に向けた「行政と住民の橋渡し役」として、所有者のニーズ把握、空家バンク登録等の助言を行う。

令和8年度6月補正予算 主要事業等の概要

北陸「温泉駅」連携による 誘客宣伝プロモーション事業

観光課

【予算計上科目：7款 2項 2目中
インバウンド推進費】

事業の内容

【事業の目的】

北陸新幹線にある「温泉駅」（加賀温泉駅、芦原温泉駅、黒部宇奈月温泉駅）の所在自治体（加賀市、あわら市、黒部市）が、都市圏において一体となり連携したインバウンドプロモーションを行うことにより、都市圏から各温泉地への訪日外国人の回遊を促すとともに、北陸＝温泉地としての海外における認知拡大を図る。

【概要】

1 事業年度	令和8年度
2 総事業費	6,000千円
3 事業内容	
(1) 北陸「温泉駅」連携による誘客宣伝プロモーション事業	6,000千円
4 財源内訳	
国（地域未来交付金）	1,000千円
負担金（あわら市、黒部市）	4,000千円
市（一般財源）	1,000千円

【予算額】

1 現計予算額	0千円
2 6月補正予算額	6,000千円
3 補正後の予算額	6,000千円

事業イメージ

北陸新幹線「温泉駅」連携



【成田国際空港・羽田空港】での 3市共同宣伝プロモーション



「温泉×北陸」をPR・認知拡大

都市圏からの回遊促進

加賀山代温泉総湯照明設備LED化事業

事業の内容

【事業の目的】

一般照明用蛍光灯の製造・輸出入が、令和9年末までに段階的に禁止され、入手が不可能となることから、LED照明へ更新するもの。併せてランニングコストの縮減も図る。

【概 要】

- | | |
|-------------------------|----------|
| 1 事業年度 | 令和8年度 |
| 2 事業費 | 24,700千円 |
| 3 事業内容 | |
| (1) 加賀山代温泉総湯照明設備LED化工事費 | 24,700千円 |
| 4 財源内訳 | |
| 市（脱炭素化推進事業債） | 22,200千円 |
| 市（一般財源） | 2,500千円 |

【予算額】

- | | |
|-----------|----------|
| 1 現計予算額 | 0千円 |
| 2 6月補正予算額 | 24,700千円 |
| 3 補正後の予算額 | 24,700千円 |

事業イメージ

〈主な内容〉

公衆浴場として浴室や脱衣所の照度を確保するとともに、公共施設として、脱炭素化を図るため、施設全体の照明をLED化する。そのため、令和7年度に実施した設計を基に、工事を施工する。



加賀山代温泉総湯地下タンク改修事業

【予算計上科目：7款 2項 3目中
観光施設整備費】

事業の内容

【事業の目的】

加賀山代温泉総湯の設備のうち、法定で使用期限の定められている地下ガスバルクタンク（濾過器、シャワー・カラン等ボイラー用）の更新を行い、安定した事業運営を確保する。

【概要】

- 1 事業年度 令和8年度
- 2 事業費 18,581千円
- 3 事業内容
 - (1) 工事請負費 18,581千円
- 4 財源内訳

市（公共施設等適正管理推進事業債）	16,170千円
市（一般財源）	1,881千円

【予算額】

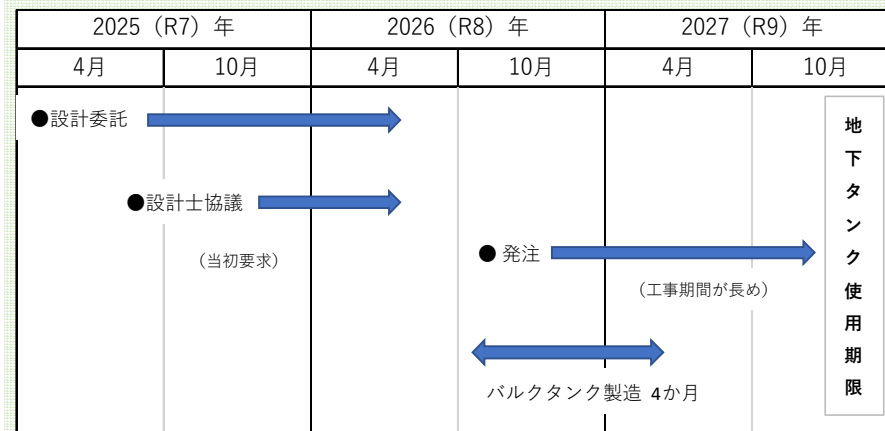
- 1 現計予算額 0千円
- 2 6月補正予算額 18,581千円
- 3 補正後の予算額 18,581千円

事業イメージ

〈主な内容〉

平成21年7月のオープンから15年が経過する中、地下埋設のガスタンクは、平成20年1月に製造されており、令和9年12月に法定使用期限を迎える。そのため、令和7年度に行った取替改修設計に基づき令和8年度に工事を施工する。

なお、現状においてタンクは地下に埋設されているが、今後の維持管理等を考慮して新タンクは地上に設置することとし、かつ温泉街の景観に十分配慮したものとする。



加賀市農林水産業振興行動計画策定事業

事業の内容

【事業の目的】

令和2年度に「加賀市農林水産業振興行動計画」を策定し、特に農業分野における6次産業化や新規就農者の増加に向けた取り組みを進めてきた。計画期間の終了に伴い、これまでの施策の評価と現状の課題の分析を基に、最新の農業情勢を反映し、6次産業化や他産業との連携による加賀市版「稼げる農業」に向けて必要なプランを策定し、それらを着実に実現するための仕組みを構築する。

【概要】

- | | |
|-----------------|-------|
| 1 事業年度 | 令和8年度 |
| 2 事業費 | 500千円 |
| 3 事業内容 | |
| (1) 振興行動計画策定業務費 | 500千円 |
| 4 財源内訳 | |
| 市（一般財源） | 500千円 |

【予算額】

- | | |
|-----------|-------|
| 1 現計予算額 | 0千円 |
| 2 6月補正予算額 | 500千円 |
| 3 補正後の予算額 | 500千円 |

事業イメージ

加賀市農林水産業振興行動計画（R2～R6）

農林水産業を魅力ある「稼げる産業」に変えるため、IoT活用やブランディングの推進など農商工が横断的に連携して取り組むための行動指針として計画を策定。



**農林水産業
振興行動計画**

令和2年4月 加賀市

方針1 生産性の向上

- <1> スマート機器等を活用したデジタル化の推進（継続点・再掲）
- <2> 栽培や生産技術の見える化
 - ①IoT技術を活用した栽培技術の継承支援
 - ②スマート機器を活用した林業技術の継承
- <3> 作業環境の整備
 - ①作業環境改善支援の整備支援
 - ②作業環境の改善や事業合理化の促進
 - ③資機と能力のある林業従事者への支援
 - ④漁業関連施設の整備

方針2 次世代を担う人材の育成と安定経営の強化

- <1> 新たな担い手の育成
 - ①新規就農支援
 - ②継続的な後継者育成
 - ③技能取得・営農計画策定支援
- <2> 経営等支援事業の充実
 - ①農産物・加工品づくりの経営支援事業等の推進
 - ②森林環境整備事業等の推進
 - ③内外販路開拓支援事業
 - ④環境保全型農業推進支援対策事業費
 - ⑤森林環境整備手続の活用
 - ⑥資力の活用再生プランの推進
- <3> 農地・林地集積と法人化の推進
 - ①農地利用集積促進活動の推進
 - ②農地活用集積促進活動の推進
 - ③森林整備の一元化
 - ④小規模林業の支援

方針3 ブランド戦略の強化

- <1> 6次産業化・地産地消の推進
 - ①農産加工業の推進
 - ②漁業・食料加工の推進
 - ③県外企業への対応
- <2> 加賀市ブランドの確立
 - ①加賀市らしい価値の創出の推進
 - ②ターゲットを見据えた商品開発の推進
 - ③加賀市らしい価値の開発促進
- <3> 高付加価値農産品等の生産推進と海外展開（継続点・再掲）
- <4> マーケット拡大化体制の構築
 - ①効果的な販路拡大の構築
 - ②効果的な販路拡大体制の構築
 - ③ブランド管理組織の構築

データ分析・市場調査 策定 最新の農業情勢の反映

加賀市版「稼げる農業」の実現に向けた次期計画の策定

+

計画を着実に実現するための仕組みの構築

除雪対策事業

【予算計上科目：8款 2項 2目 雪害対策事務費・除雪機械整備費】

事業の内容

【事業の目的】

道路除雪において町内会が自主的に除雪を行うことができるよう、小型除雪機械購入の助成を行うもの。また、除雪業者のオペレータ不足解消のために、資格取得の補助を行う。市所有除雪機械の地区配備を増台し、除雪作業の強化を図る。

【概要】

1 事業年度	令和8年度
2 事業費	9,645千円
3 事業内容	
(1) 小型除雪機器整備事業	2,625千円
(2) オペレータ育成支援事業	420千円
(3) 除雪機械整備事業	6,600千円
4 財源内訳	
市（過疎対策事業債）	6,600千円
市（一般財源）	3,045千円

【予算額】

1 現計予算額	25,500千円
2 6月補正予算額	9,645千円
3 補正後の予算額	35,145千円

事業イメージ

小型除雪機器整備事業

手押し除雪機械 3台
補助率75%



除雪機械整備事業

乗用除雪機械（WA200級）1台
（WA30級）1台



除雪オペレータ育成支援事業

70,000円×6人

事業名	数量			備考
	当初	6月補正	計	
小型除雪機器整備事業		3	3台	上限90万円
オペレータ育成支援事業		6	6人	上限7万円
除雪機械整備事業（WA200級）	1		1台	
除雪機械整備事業（WA30級）		1	1台	

令和8年度6月補正予算 主要事業等の概要

公園施設更新事業

土木課

【予算計上科目：8款 5項 6目中 公園整備事業費】

事業の内容

【事業の目的】

片山津温泉の中心に位置する砂走公園あいあい広場は、供用開始後20年が経過しており、施設が老朽化している。このため、損傷が著しい木製デッキを改修し、公園施設の安全対策を図るものである。

【概要】

- 1 事業年度 令和8年度～令和9年度
- 2 総事業費 60,000千円
- 3 事業内容 デッキ張替工

【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 28,500千円
- 2 事業内容
 - (1) 工事請負費 28,500千円
- 3 財源内訳

国（再編関連訓練移転等交付金）	23,549千円
市（一般財源）	4,951千円

【予算額】

- 1 現計予算額 0千円
- 2 6月補正予算額 28,500千円
- 3 補正後の予算額 28,500千円

事業イメージ

都市公園 砂走公園あいあい広場



R8年度施工
デッキ張替工

R9年度施工
デッキ張替工

【老朽化した木製デッキの張替】



大聖寺町屋実態調査事業

【予算計上科目：8款 6項 2目中 町屋再生整備費（補助）】

事業の内容

【事業の目的】

町屋再生整備の財源としてきた「まちづくりファンド」の活用が終了したことから、新たな財源として観光庁の歴まち計画型環境整備推進事業補助金を視野に入れ、現況に合致した改修方法や基準作りを行うため、所有者の意向調査や基礎調査を踏まえたうえで策定を行う。

【概要】

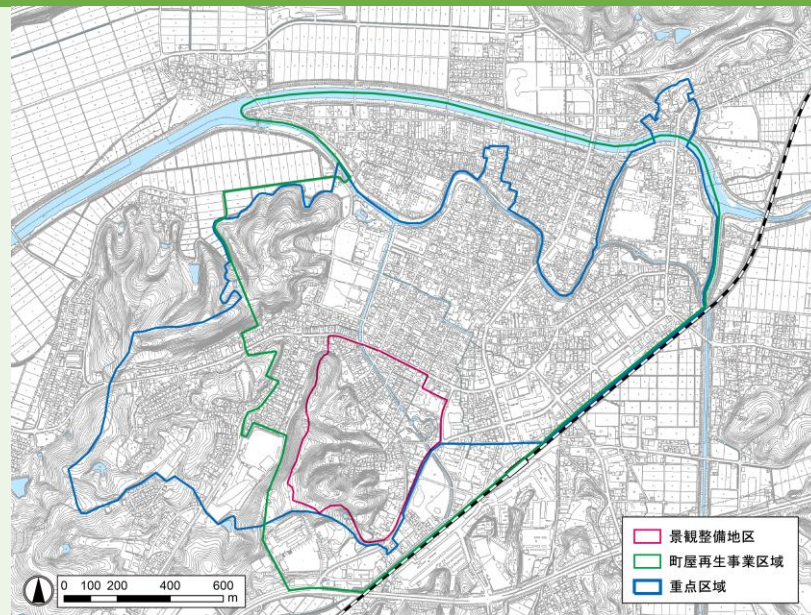
- 1 事業年度 平成18年度～
- 2 事業費 5,643千円
- 3 事業内容
 - (1) 大聖寺町屋実態調査費 5,643千円
- 4 財源内訳

国（環境整備推進事業補助金 10/10）	5,643千円
----------------------	---------

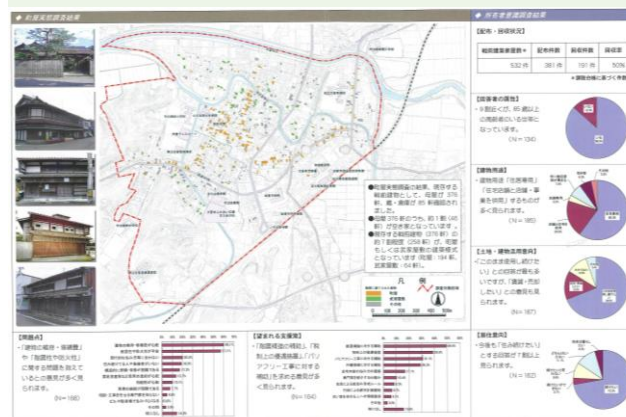
【予算額】

- 1 現計予算額 0千円
- 2 6月補正予算額 5,643千円
- 3 補正後の予算額 5,643千円

事業イメージ



事業実施箇所 R8 実態調査・意匠計画策定
R9以降 町屋の整備



実態調査及び
意匠計画策定
イメージ

令和8年度6月補正予算 主要事業等の概要

消防救急デジタル無線設備更新事業

消防総務課
【予算計上科目：9款 1項 3目中
通信設備整備費】

事業の内容

【事業の目的】

災害現場活動における最も重要な通信手段として平成25年度に導入した現在の消防救急デジタル無線施設は、老朽化が進み、更新目途年数（10年～15年）を迎えることから令和9年度に更新整備を行う。

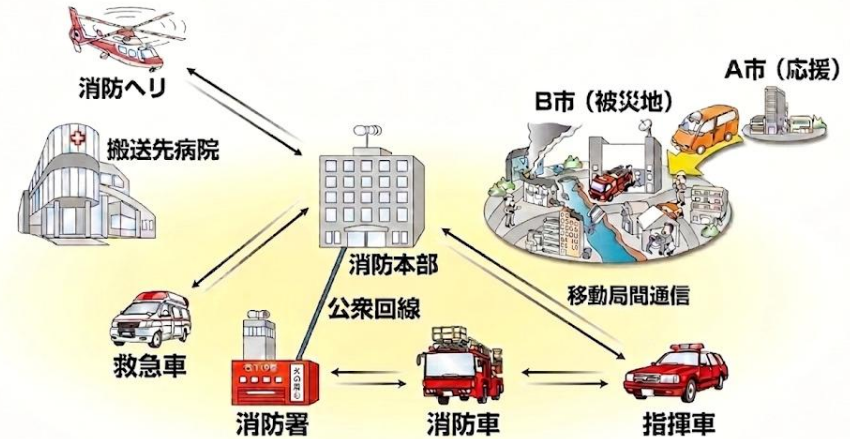
【概要】

- | | |
|--------|-------------|
| 1 事業年度 | 令和8年度～令和9年度 |
| 2 総事業費 | 約460,000千円 |
| 3 完成予定 | 令和10年3月 |

【令和8年度 事業の概要】

- | | |
|---------------|----------|
| 1 事業費 | 10,300千円 |
| 2 事業内容 | |
| (1) 実施設計業務 | 10,100千円 |
| (2) 事務費 | 200千円 |
| 3 財源内訳 | |
| 市（緊急防災・減災事業債） | 10,300千円 |

事業イメージ



加賀市の消防救急デジタル無線設備

- ・ 基地局
 (消防本部基地局・坊山基地局)
- ・ 車載型移動無線機
 (可搬式 1台、常備 30台、非常備 27台)
- ・ 携帯型移動無線機
 (デジタル 17台、署活動系 21台)

教育ビジョン推進事業

【予算計上科目：10款 1項 3目中 教育ビジョン推進費】

事業の内容

【事業の目的】

学校教育ビジョン2023-2025から継続して子どもが主役の授業づくりに取り組むほか、これからの学校の学びの環境に必要な備品の整備やリノベーションに「空間デザイン」や「デザイン」の思考法を取り入れ、さらに創造的な学校づくりを行うことで、自立した学び手を育てる環境を整備する。

【概要】

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1 事業年度 | 令和8年度 |
| 2 事業費 | 2,300千円 |
| 3 事業内容 | |
| (1) リノベーション費 | 800千円 |
| (2) 備品購入費（電子黒板） | 1,500千円 |
| 4 財源内訳 | |
| 市（デジタル活用推進事業債） | 1,300千円 |
| 市（一般財源・クラウドファンディングによる寄附） | 1,000千円 |

【予算額】

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 現計予算額 | 189,778千円 |
| 2 6月補正予算額 | 2,300千円 |
| 3 補正後の予算額 | 192,078千円 |

事業イメージ

令和8年度実施予定校（錦城小学校、片山津小学校）
（令和5年度～令和7年度 実施済校 13校）

令和7年度 動橋小学校



令和7年度 山中中学校



石川県九谷焼美術館展示室照明設備LED化事業

【予算計上科目：10款 5項 3目中
石川県九谷焼美術館整備事業費】

事業の内容

【事業の目的】

一般照明用蛍光灯の製造・輸出入が、令和9年末までに段階的に禁止され、入手が不可能となることから、LED照明へ更新するもの。併せてランニングコストの縮減も図る。

【概要】

- 1 事業年度 令和7年度～8年度
- 2 総事業費 50,864千円
- 3 完成予定 令和9年3月

【令和8年度 事業の概要】

- 1 事業費 46,706千円
- 2 事業内容
 - (1) 石川県九谷焼美術館展示室照明設備LED化工事費 46,079千円
 - (2) 工事監修費 627千円
- 3 財源内訳

市（脱炭素化推進事業債）	41,400千円
市（一般財源）	5,306千円

【予算額】

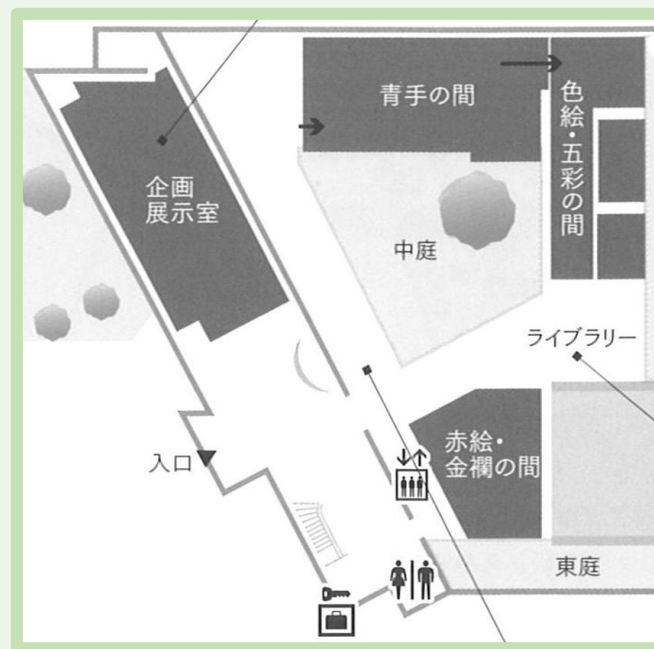
- 1 現計予算額 0千円
- 2 6月補正予算額 46,706千円
- 3 補正後の予算額 46,706千円

事業イメージ

【工事内容】

- ・企画展示室：最奥壁面ケース以外の照明
- ・青手の間：壁面、天井、スポット、ライン照明、可動ケース1台の内部照明
- ・色絵・五彩の間：壁面、天井、スポット照明
- ・赤絵・金襴の間：天井、展示ケース、スポット照明

<施工箇所>



「地域枠」創設による
加賀看護学校授業料無償化事業（令和9年度から）

財政課
【予算計上科目：4款 1項 4目中
看護師養成所運営費繰出】

事業の内容

【事業の目的】

加賀看護学校の定員確保、地元若年層の流出防止、医療機関及び介護サービス事業所における看護職員の慢性的不足を解消するため、令和9年度から加賀看護学校に「地域枠」を創設する。

市内に定着する意思のある学生を対象に授業料を無償化することで、将来の地域医療・介護を担う人材の確保を図る。

※ 本事業は令和9年度から実施予定であり、対象学生の募集を令和8年度中に開始するため、同年度予算における債務負担行為を計上する。

【概要】

- 1 事業年度 令和8年度～令和9年度
- 2 事業費 7,200千円（債務負担行為）
- 3 事業内容
 - (1) 病院事業会計繰出金
（看護師養成所運営費繰出） 7,200千円
- 4 財源内訳

市（一般財源）	7,200千円
---------	---------

事業イメージ

【地域枠の内容】


次の要件をすべて満たすことで、卒業後に加賀市に居住し看護職として就業することを確約した学生については、授業料を無償化する。

〈要件〉


- ・ 在学中、加賀市に引き続き住民登録すること
 - ・ 卒業後に引き続き3年間(※)、加賀市に住民登録すること
 - ・ 卒業後に引き続き3年間(※)、加賀市内の医療機関又は介護サービス事業所に看護職として勤務すること
- ※無償化の適用を受けた期間が3年未満の場合は、その相当期間


〈給付イメージ〉

1年	48万円	2年	48万円	3年	48万円	合計 144万円
----	------	----	------	----	------	----------



加賀市で学び





加賀市で看護師として活躍

〈その他の支援〉

- ・ 看護学生の住宅支援
- ・ 加賀市病院事業で保有する住宅物件を市外から転入して入学する看護学生向けに低額（5,000円程度/月）で貸出し



旧山中温泉医療センター看護宿舎(山中温泉)

令和8年度 一般会計6月補正予算 債務負担行為調書

(追加)

(単位：千円)

事 項	限度額	期 間	左の財源内訳				説 明
			特定財源			一般財源	
			国・県支出金	地方債	その他		
「地域枠」創設による加賀看護学校授業料無償化事業繰出金	7,200	令和8年度 ～ 令和9年度	0	0	0	7,200	加賀看護学校の定員確保、地元若年層の流出防止、医療機関及び介護サービス事業所における看護職員の慢性的不足を解消するため、加賀看護学校に「地域枠」を創設し、授業料を無償化する。（無償化に伴う病院事業会計の収入減少分を一般会計から繰り出して補填する。）
山中温泉地区会館等整備事業（実施設計）	33,100	令和8年度 ～ 令和9年度	0	33,100	0	0	山中温泉地区会館等整備事業（実施設計） 期間 令和8年度～令和9年度 事業概要 山中温泉文化会館跡地に、山中温泉地区会館と山中児童センターを併設した施設を建設するための実施設計を行う。
加賀市営住宅管理業務	73,506	令和8年度 ～ 令和10年度	0	0	73,506	0	加賀市営住宅管理業務 期間：令和8年8月1日～令和11年3月31日 予算額：73,506千円（R8年度0円、R9年度36,753千円、令和10年度36,753千円） 事業概要：市営住宅の窓口業務、収納業務、保守点検業務、修繕業務などを委託する。

令和8年6月加賀市議会定例会議案概要

◇報告案件（11件）

報告 番号	件 名	概 要
3	専決処分の報告について(加賀市税条例の一部改正について) ※専決第2号(令和8年3月31日専決)	地方税法等の一部を改正する法律のうち本年4月1日施行の規定について、専決処分を行う必要があったもの。 【主な改正】 ・現下の経済情勢等を踏まえ、軽自動車税の環境性能割を廃止し、軽自動車税の種別割を軽自動車税とする改正を行ったもの。 ・肉用牛の売却による事業所得に係る市民税の課税特例期間を3年間延長する改正を行ったもの。 ・課税標準の特例措置を改修特別特定建築物全般に適用し、さらに当該特例措置に係るわがまち特例の割合を定める改正を行ったもの。
4	専決処分の報告について(加賀市国民健康保険税条例の一部改正について) ※専決第3号(令和8年3月31日専決)	地方税法の一部を改正する法律及び地方税法施行令の一部を改正する政令のうち本年4月1日施行の規定について、専決処分を行う必要があったもの。 【主な改正】 ・子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、子ども・子育て支援納付金を新設したもの。 ・今年度以降の国民健康保険税に関して、物価上昇等の経済動向を踏まえ、国民健康保険税の軽減対象となる所得基準額を引き上げる改正を行ったもの。
5	令和7年度加賀市一般会計繰越明許費繰越計算書について	地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づく報告

報告 番号	件 名	概 要
6	令和7年度加賀市一般会計事故繰越し繰越計算書について	地方自治法施行令第150条第3項において準用する同令第146条第2項の規定に基づく報告
7	令和7年度加賀市病院事業会計予算繰越計算書について	地方公営企業法第26条第3項の規定に基づく報告
8	令和7年度加賀市水道事業会計予算繰越計算書について	
9	令和7年度加賀市下水道事業会計予算繰越計算書について	
10	令和7年度加賀市土地開発公社収支決算等について	地方自治法第243条の3第2項の規定に基づく報告
11	令和8年度加賀市土地開発公社収支予算等について	
12	令和7年度加賀市総合サービス株式会社収支決算等について	
13	令和8年度加賀市総合サービス株式会社収支予算等について	

◇予算案件・補正（3件）

議案 番号	件 名	概 要	
35	令和8年度加賀市一般会計補正予算	補正額 補正後	584,200千円 37,289,200千円
36	令和8年度加賀市介護保険特別会計補正予算	補正額 補正後	2,200千円 7,416,200千円
37	令和8年度加賀市水道事業会計補正予算	補正額 補正後	69,500千円 4,844,900千円

◇条例案件（2件）

議案 番号	件 名	概 要
38	加賀市職員等旅費条例の一部改正について	職員等の旅費に関する規定を国の基準に準じることとするための改正を行う。
39	加賀市税条例の一部改正について	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、現下の経済情勢等を踏まえ、固定資産税の免税点を引き上げる等の改正を行う。

◇その他案件（2件）

議案 番号	件 名	概 要
40	大聖寺ゲートウェイの指定管理者の指定について	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者 加賀市総合サービス株式会社 ○指定期間 令和8年7月1日から令和10年3月31日まで
41	「事業契約について」の一部変更について	<p>令和6年9月議会において議決された公共施設照明LED化事業について、事業に係る整備金額が確定し、事業総額の借入を行う際の利率が当初契約時の想定利率を上回ったため、契約金額を次のとおり変更する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○契約金額 変更前：854,000,000円 変更後：882,359,000円（28,359,000円増）